

2025 年度 12 月～ 3 月のできごと

【月明かり、昼の如し】

月明かりを楽しむナイトハイクスノーシュ

満月の中、月明かりのみを頼りに散策する特別な夜。当日は晴天に恵まれ、雪の上に木立の長い影が黒々と伸びていました。

葉も落ちた夜の森では、樹を見ても何の種類なのか分かりませんが、ある木の枝の表面を爪で少し削ると華やかな香りが溢れました。

この香りはクロモジの香りです。ガイドの最後は焚火を囲みながら、このクロモジのお茶でほっと一息つきました♪ 日常、お家で過ごす夜の時間とは違う、特別な一時を感じていただけていたら嬉しいです。



【その魅力に惹きこまれる】

ちょうちょ研修

チョウ類に詳しいスタッフの主催で、「ちょうちょ研修」が2日間に渡り開かれました。

研修内容は、「そもそもチョウってなんだ？」から始まり、意外な事実一同驚き。調査方法のレクチャーでは、実際にフィールドに出て探し方を教わりながら捕獲を試みました。

中でも、那須平成の森の中でのチョウ類の調査結果や、過去に行ったプログラムの話にはスタッフ一同興味津々で、たくさんの質問が飛び交い、非常に貴重な時間となりました。



【最後の思い出づくり！冬の森で遊びつくす】

森っこインタープリター最終回

昨年度の「森っこインタープリター～スタート編～」は、2月7日に最終回を迎えました。最終回は、最後の思い出作りに、雪がある森でめいっぱい遊ぶという内容を恒例にしています。

この冬は例年に比べて積雪量が少なく、どうなることかと心配しましたが…当日は無事に雪遊びができました！「住んでる場所にこんなに雪はないから、とても楽しい！」と、すっかり仲良くなった森っこたちは雪合戦を白熱させていました。



【草花の芽吹きを促す取り組み】

施設運営の裏側：樹林地管理編

雪解けが進んできたなと思ったら、園路のあちこちでスマレの仲間の芽が姿をみせはじめました。

那須平成の森では、能動的な樹林地管理として、園路沿いの樹林地を階層ごとに整備する取り組みを進めています。園路から幅1m程度の区域では「草本エリア」としてスタッフがササを除去し、草花の出芽を促そうとしています。

草花が増えれば昆虫も増え、それを食べる鳥や動物たちも増えていきます。森の変化が楽しみです。

園路を歩くなら…

インタープリターのイチ推し！～春編～

～2026年度はセンターから近く、光が届く明るい環境の「バリアフリー園路」をご紹介します～

ヤマツツジやレンゲツツジによく吸蜜に来て
いるのは…花たちの狙いどおり…アゲハチョウ類！ここでは美しい複雑な色をしたカラスアゲハやミヤマカラスアゲハが見られます。

ミヤマカラスアゲハ



カーリー



ヤマツツジ



カーリー

ヤマツツジは那須の地質や歴史とも深い関わりが。昆虫たちは蜜だけでなく、花粉も食べに訪れます。知るほどに、とても面白いお花です。

エゾハルゼミ



春に鳴くセミだから「春蝉」。エゾの名の通り涼しい環境を好み、栃木で見るのは山の上くらいです。小さく薄い抜け殻は、散策路の至る所で目にします。



リータ

カバヤハンノキの若葉



リータ

冬芽の中に押し込まれていたことが分かる、折り目が付いた葉。葉脈一本一本に水が行き渡ると、アイロンで伸ばしたように折り目がピンと張りつめます。

茶臼岳ど～ん



さのっち

園路を右回りで歩いてくると、那須連峰の主峰、茶臼岳が目飛び込んできます。鳥たちの姿も多く、日々移り変わる森の表情を楽しめるポイントです。

スタッフからのひとこと自己紹介！



さのっち

森の表情は毎日変わります。それを発見するのが楽しみです。

この時期から、館内に侵入してくる虫との我慢比べがはじまります



のぶ



リータ

今年は栃木で両生類や鳥をたくさん見つけに行く年にしたいです

小学生になりたての息子から、「おばちゃん！」と呼ばれます。篠笛の練習にはまっています



カーリー